

科目名称	動物栄養学
授業コード	BC169
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	小泉 亜希子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本講義では、動物栄養学の基本的な知識を習得するとともに、コンパニオンアニマルの栄養生理について理解することを目的とする。おもにイヌ・ネコを対象動物として講義を行うが、必要に応じて鳥類その他の動物についても言及する。 なお、本科目は「愛玩動物看護師カリキュラム」対応科目である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	動物病院での愛玩動物看護師としての臨床経験を活かしながら講義を行う。
到達目標	小動物栄養学分野における基礎知識を学び、これらに関する基本的な知識を身につける。栄養素の種類とそれぞれの働きを理解するとともに基本的な栄養管理の方法を修得する。 本科目は、アニマルサイエンス学科のカリキュラムポリシーにあるような「基礎科目」であり、アニマルサイエンス学科のディプロマポリシーにある「動物の基礎生物学的な専門知識を幅広く有し、それらを科学的な思考によって展開してプレゼンテーションできる能力を修得する」ことに貢献します。
計画・内容	1)ペットフードの市場 2)基礎栄養学（炭水化物、タンパク質） 3)基礎栄養学（脂質、ミネラル） 4)基礎栄養学（ビタミン、水） 5)ライフステージと食性・採食・嗜好 6)肥満、栄養評価法、手作りフード 7)種類と加工、メーカー 8)原材料、嗜好性 9)法令、各種試験法、栄養成分 10)疾病の栄養学（消化器疾患、アレルギー性疾患、問題行動と食事） 11)疾病の栄養学（尿石症、歯科疾患、糖尿病） 12)疾病の栄養学（腎疾患、心疾患、肝疾患） 13)入院中の栄養管理 14)エキゾチックアニマルの栄養学（ウサギ・モルモット） 15)エキゾチックアニマルの栄養学（小鳥・ハムスター・フェレット）、まとめ
授業の進め方	主教材は、教員が配布する資料とし、教科書・参考書を適宜使用しながらパワーポイントおよび動画資料等を用いながら講義をすすめていく。
能動的な学びの実施	確認テストとその解説を行いながら、理解度の振り返りを行う。
授業時間外の学修	講義に関連する内容について調べておくこと。また授業後は配布された資料をみかえし、ノート整理、未理解箇所の抽出を行い不明な点をまとめておくこと。（合計60時間程度）

教科書・参考書	教科書： 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻(動物栄養学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション)エデュワードプレス、¥3,850円(税込) 参考書： ペット栄養管理学テキストブック、一般社団法人日本ペット栄養学会編、¥6,600円(税込)
成績評価方法と基準	授業態度および確認テスト(30%) + 定期試験(70%) 遅刻・早退・欠席をする場合には、事務室にある理由書に記入し提出すること。
課題等に対するフィードバック	授業後に学生から出た質問については、次回授業内でフィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	本科目は、愛玩動物看護師の資格取得希望者は必ず受講すること。 、ペット栄養管理士(一般社団法人ペット栄養学会)、ペットフード安全管理者・ペットフード販売士(一般社団法人ペットフード協会)の資格取得を希望する学生は受講することが望ましい。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomによるオンライン授業・授業動画配信によるオンデマンド授業を実施する。 成績評価方法と基準 出席状況および確認テスト(40%) + 定期試験(60%)